

米子市文化財保護審議会議事録（令和元年度 第1回）

日 時 令和元年8月30日（火）13：00～
ところ 米子市役所第2庁舎3階会議室

■ 日 時 令和元年8月30日（火）13：00～
■ 場 所 米子市役所第2庁舎3階会議室

開会挨拶

議 事

（1）会長・副会長の選出

（2）令和元年度前半期文化財保護事業実施状況について（報告）

事務局：〔資料P2～4に沿って報告〕県指定天然記念物、市指定名勝の関係で補足があります。粟嶋で山裾の木が繁茂して周辺の農地に影響が出始め、苦情が寄せられています。天然記念物と名勝の指定の影響のない範囲で伐採しなければいけない樹木が出てくる可能性があります、ご相談させていただければと思います。山の上方は良いのですが、山裾で指定地の外に被ってきた下に農地があり、陰になって作物ができないという苦情がきております。その度に除去はしておりますが、県の文化財課とも相談しながら進め方を考えていきたいと思っております。オオサンショウウオについては、今年初めてマイクロチップを埋め込みました。同じようなところに放流せざるをえず、同じ個体を何回か捕まえた可能性もありますので、生態管理の一環で今年からマイクロチップを埋め込むよう購入しました。今年2件のうち1件は暴れて埋めることができませんでした。慣れてないということもありますが、生態管理をきちんとしていかなければと思います

委 員：番号はどこが管理しているのですか。全国的な番号というのはない？

事務局：全国番号を県に登録すると、全国でオオサンショウウオに固有のマイクロチップの番号が与えられる仕組みで、チップのリーダーで読むと番号がわかり、照会すれば鳥取県米子市のどこで見つかったかわかるようになっています。

（3）米子市文化財の新規指定候補について

事務局：資料のとおり8件を指定文化財候補として調査等を進めていきたいと思っております。7件は過去の保護審議会で説明いたしました、新たな候補として淀江の石馬の顕彰の石碑を挙げております。後程、現地視察で見たいと思います。飛行機用掩体は担当課が土地の確定等をしており、少し時間がかかっていますが、確定次第早急に指定に動きたいと思っております。了春寺については、

鳥取藩家老の墓所は市指定史跡ですが、了春寺に関する様々な資料を県立博物館が調査しております。了春寺は江戸時代になってから日本に伝わってきた黄檗宗のお寺で、その資料に良いものがあるということで10月の5日から県立博物館で黄檗宗関係の特別展があり、かなりの点数が出展される予定です。こういった調査研究を経て指定に向かうものがかなりあると思いますので、実物を見ながらご相談させていただけたらと思います。セントロマントロについてもご相談させていただき進め方を考えたいと思っております。今年度の後半期の保護審議会では、この中からできるだけたくさん諮問まで進めていきたいと思っております。

委員：セントロマントロは、以前の調査報告書で書かれて以来セントロマントロ、千灯ろう万灯ろうとなっていますが、尚徳で改めて聞きましたところセントロとしか言っておらずマントロは聞くことできませんでしたので、米子の場合はマントロを消してください。セントロについては本当に悩んでおります。指定できるとしたら、愛宕信仰と秋葉信仰と役行山信仰によるものだけですが、尚徳公民館が地域おこしのためにセントロの習俗を盛んにしようと呼びかけて新たに始めたところが何か所かあります。限られた地区のみがセントロだとするか、指定をやめるか、やめてしまうと尚徳公民館の地域おこしがダメになるし、悩んでおります。愛宕信仰の火祭りの形態がちょっと変形してますので、絶対に指定しなければいけない程重要だとも言えない。文化庁調査課の話では、文化財指定を受けていないものでも地域の重要な文化財であるから、それも併せて活用しながら地域おこし、観光に結び付けたらということでした。尚徳の方々にはセントロの民俗の活用について米子市から案を持っていかないと、せっかくの盛り上がりが潰れてしまう気がします。今後についてはどのように考えていますか。

事務局：確かに尚徳地区で盛り上がっておりますが、指定となると学術的裏付けが大事だと思っており、登録文化財制度のような緩やかな文化財という考え方もあるかと思っております。国から全国的に文化財の地域計画の策定が推進されており、そのなかで地域の文化財、民俗行事も取り上げて、指定ではないけれども緩やかな保護活動、活用ができればということも考えております。北村委員から拙速な指定に対するご批判もあり、そういう進め方もあろうかと思っております。

委員：変わっていくものでしょうし、どこまでを文化財としていくのか難しい案件だと思います。

委員：文化財指定となるところも責任を問われますが、地域おこしとして尚徳公民館が一生懸命ですので、支援していけるような形で活性化できたらと思います。

委員：地域の活性化に力が入っていて、そこに文化財が巻き込まれている。

委員：「米子の宝 88 選」に入っていなかったようですが、歴史はあることはあるので、入れてもおかしくない。88 選以外にもたくさんあると思うので、新たな掘り起こしもしていきます。

委員：尚徳は少し変わってるけれども、あるにはあります。地域のための文化財掘り起こしをもう一度していただければ嬉しいです。

事務局：88選の時には300近くの文化財的なものの掘り起こしをしましたが、もう一度見直して地域計画の策定に向かいたいと思っております。無くなってしまうものがかなり出てきてますので、できるだけ早く対応しなければいけません。

委員：文化財活性化という視点でいえば、公民館を中心に地元で熱意があり、スルーした方もったいないので、これを上手く選択してなんとかしていただけたらと思います。